

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	競艇事業部	警備課	警備	内線等	97-400
----	-------	-----	----	-----	--------

事業コード		事務事業名	警備事業
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

事務事業の内容

対象	場内への入場者に対して
手段	競走場内での安全・秩序を維持することによって
想定する成果	競走の公平かつ安全性を確保する。

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
有料入場者 事案（救護・ 苦情等）	1,348,540人 344件 / 215日	1,216,822人 297件 / 219日	1,200,000人 320件 / 241日

目標値

成果指標名	開催日1日当たりの事案発生件数
成果指標の説明	年間場内事案件数 / 年間開催日数

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画	-	-	1.0件
	実績	1.6件	1.4件	-
事業費	事業費	345,146,000円	340,223,000円	408,039,000円
	人件費	51,432,000円	33,432,000円	25,491,000円
	(人数)	6.0	4.0	3.0
	合計	396,578,000円	373,655,000円	433,530,000円
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	396,578,000円	373,655,000円	433,530,000円

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	6	開催日数増によるも、発生件数が抑制できた。
効率性	6	6	正規職員を減員し、嘱託職員で対応することとした。
公共性	10	10	施行者が実施すべき事業である。
緊急度	10	10	競走の公平かつ安全性を確保するため、継続的に実施すべき事案である。
小計	32	32	
市民参加度	10	0	
合計	42	32	
総合評価	A	A	事案件数が減少している現状で施策を進めていきたい。競艇場の施設の中で動静を察知することに努める。競艇場は安全で楽しめる施設であることを位置づけたい。

これまでに実施した改善点

達成度	発生件数の減少にあたり警備の充実を実施した。
効率性	場内警備の配置場所の見直しをした。
公共性	
緊急度	
市民参加度	ファン・住民の施設見学を実施した。

今後の改善すべき点

達成度	事案発生件数を減らすため警備員の連携の向上に努めたい。
効率性	ファン全体を目視できる配置場所の適正化を図りたい。
公共性	
緊急度	
市民参加度	今後も、周辺対策協議会で市民の意見を反映させたい。